

助成事業実施報告書

団体名 くすのき子ども食堂実行委員会

代表者・役職名 氏名 会長 田所 桂子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

くすのき子ども食堂

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

- 子ども食堂:2022年4月から、毎週4回の子ども食堂を実施しました。
火・木曜 17時～19時、水曜 15時～17時(おやつ)、土曜 11時～13時開催しました。感染予防と子どもたちの状況に合わせてテイクアウトも並行して実施しました。
費用:子ども無料、大人100円です。
- 食品など配布:毎週金曜日、土曜日他、必要に応じて実施しました。
- 無料学習塾:毎週火曜～土曜週5日開催。小学生の部と、中高生の部の2部に分けて実施しました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

- 1)実施実績
①実施回数:187回 ②利用人数:8616名(子ども6664名、大人1952名)
- 2)成果
助成金を受け、2022年4月から会食型の食堂を実施しました。コロナ禍ということもあり、テイクアウトも併せて実施することで、家族の状況や健康状態に合わせて子ども食堂を利用するスタイルが生まれました。「直接食堂に来ることができない」「みんなで食べるのは少し恥ずかしい」など、子どもが自分の心情や兄弟の状況にあわせて食堂を利用してくれるようになりました。
- 3)社会的な変化
①毎週4回子ども食堂をすることで、「ふらっと」立ち寄って利用できる居場所として地域に根付いてきました。
②子育て中で困窮している世帯のお母さん方の口コミや、SNSなどにより利用につながる世帯がありました。食事だけでなく、各種食品や支援品などもお渡しすることができました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

- 1)今後の活動
引き続き毎週複数回の子ども食堂と無料学習塾を開催します。
・子ども食堂:火・木・土曜日 17時～19時
・学習塾:火・水・木・土曜日開催
地域の子どもたちが、気楽に利用できるよう、予約登録不要、無料(大人は協力費として300円)での開催を続けます。
- 2)課題
運営資金を各種助成制度に頼っており、安定した収入の確保が課題です。2023年度は、物価高騰もあり、大人の費用を100円から300円に戻し急場の対応とします。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

